

2017年9月20日

会員各位

日本輸血・細胞治療学会
理事長 室井 一男

「輸血関連情報カード」発行アプリの公開について

臨床的に問題になる不規則抗体を保有する患者には、その旨を記載した情報カードを携帯させることが望ましいと輸血療法の実施に関する指針に記載されており、その推進が求められています。この度、日本輸血・細胞治療学会安全委員会では、更なる輸血療法の安全確保と向上を目的として、輸血検査を安全に行うための標準的な情報を簡便に発行できる「輸血関連情報カード」アプリを作成し、公開することになりました。

「輸血関連情報カード」は、不規則抗体情報のみならず、移植歴や輸血検査に影響を与える薬剤に関する情報も同時に掲載されるように設計されており、輸血療法を提供する側と受ける側の安全確保を実現できる有用なツールとなり得ます。このカードを活用することで、輸血療法を提供する上で問題となる不規則抗体、移植歴、輸血検査に影響を与える薬剤情報の共有化が図られ、遅発性溶血性輸血副作用（DHTR：delayed hemolytic transfusion reaction）の予防、情報がないことに起因する輸血開始の遅延（血液型が確定できない、交差試験が適合しないなど）を回避できるようになり、効果的な輸血療法の実施が期待でき、学会としては、「輸血関連情報カード」の普及を推進することで、輸血療法の安全確保を目指していく予定です。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、本アプリは不規則抗体カードの発行・普及を通して、輸血検査の安全性をさらに高めるためのものであり、すでに不規則抗体カードなどを独自に作成・発行されている施設におかれては、その取り組みを継続していただきたくお願いいたします。

※「輸血関連情報カード」発行アプリの使用の際には以下の点にご留意下さい。

- ① アプリを利用する際には、日本輸血・細胞治療学会のホームページから直接ダウンロードし、各自施設のパソコンにインストールしてください。
- ② アプリには、Microsoft Excel のマクロが使用されております。ご使用の際には Excel 2007 以上のバージョンをご使用ください。
- ③ アプリで発行したカードに掲載されている内容は、現状において輸血検査のエラーを防ぐための項目がすべて入っていますので、加工および修正はしないでください。該当する項目のみカードに表示するようにご使用下さい。
- ④ 「輸血関連情報カード」の発行に当たっては、各施設の承認を得、掲載される情報に間違いがないかダブルチェックを行うなどして慎重にご対応下さい。なお、日本輸血・

細胞治療学会では、カード上に記載された患者情報などに関する責任は負えません
⑤本アプリに関するご質問、ご意見などがありましたら、本メールアドレス
(jyohocard@jstmct.or.jp) にお寄せ下さい。

以上

発行元

日本輸血・細胞治療学会安全委員会

委員長 紀野修一

病院情報システムタスクフォース

委員長 大谷 慎一

マスタ標準化作業部会

部会長 奥田 誠